

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1491000020	事業の開始年月日	平成18年6月1日	
		指定年月日	平成18年6月1日	
法人名	医療法人社団 東華会			
事業所名	サリューブル とつか			
所在地	(245-0065) 神奈川県横浜市戸塚区東俣野町927-3			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成22年1月10日	評価結果 市町村受理日	平成22年3月23日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

明るい笑顔・優しい笑顔・元気な笑顔の理念の下、職員が明るく楽しく働けることが、利用者様の笑顔に生かせるものと信じて仕事をしています。
利用者様に接する時は、優しい笑顔で、優しい声かけを実践しています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成22年2月10日	評価機関 評価決定日	平成22年3月10日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の優れている点】 ◇所在地周辺は閑静な住宅地で、北側に向かって低くなる地形の高台に事業所が建てられている。近くには広大な公園や遊園地があり、環境の良い所である。</p> <p>◇事業所運営に望まれている高齢者介護に対する普遍的な理念が、当事業所で有効に実践されていることを挙げたい。独自に提唱している「笑顔」による介護支援も含め、高齢者介護に必要な基本事項を確実に理解して日常の言動に反映している。(ホーム長が唱えている、利用者個々の本質を見極めての介助が最も重要であると考えている)</p> <p>◇事業所の内部構造が一般的な家庭の住まいに類似して造られている点である。高齢者の安全に配慮した備品等の使用は勿論であるが、共用空間である食事の場所、畳の間、トイレ、風呂場などの配置が、普通の家庭で見られる情景であることが特徴的である。</p> <p>【事業所が工夫している点】 ◇利用者の身体的安全に配慮して、物品の格納方法で危険物や日用品が直接目に留らないようにしている。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

サリューブルとつか

事業所名	サリューブル とつか
ユニット名	1F ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・明るい笑顔・元気な笑顔・優しい笑顔の理念の下、優しい声掛けをモットーに管理者・職員間の連携を図りチームケアを実践しています。	・利用者に日々、笑顔で接することを理念とし、社会的役割としての支援に反映されている。職員が共に唱和することで理念を意識し介護現場で実践している。玄関フロアに掲示している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域連携を行うべき働き掛けを開始しました。自治会への挨拶を始め東俣野幼稚園からのもちつき協力を得られました。	・東俣野自治会に加入し、地域の催し事に参加することで得られる情報などから、自らの地域貢献事項を見出し積極的に交流している。12月には幼稚園児が参加して、所内で餅つき大会をした。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩時の挨拶を行っていますが、地域貢献は出来ていません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会の意見や要望に応え、サービス向上に努めています。より多くのご家族が出席出来るよう案内をしています。	・現行では3ヶ月ごと、年4回開催し、最近では1月に実施した。会議は連合自治会長、行政職員、利用者・家族代表などが出席し、実状の報告、意見の聴取により問題点を見出し運営に反映させている。	・昨年10月の開催時に、運営推進会議を年4回、1, 4, 7, 12月に持つことが承認されているが、基準ではおおむね2ヶ月ごとの開催が望まれていることから、再度、行政と検討されることを期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	行えてないと思います。	・地域包括支援センターとの連携、及び、生活保護関連の連絡等で戸塚区側との連携が見られる。	

サリ्यूブルとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルを通して、正しく認識していますが、新人職員が多い現状から再度教育を実施中です。	・現状で身体拘束の必要はないが、拘束の実態についての理解は全職員に周知されている。身体拘束はしない方針である。徘徊が見られる利用者にも見守りで対応している。施錠はしない方針である。	・職員に対して身体拘束に関する勉強会を行い理解を深めるよう望まれる。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルを通して、言葉の暴力・無視などが虐待であること等、事業所内で見過ごされることがないように防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護では自立支援の目的や成年後見人制度を学ぶ研修を本部で行っています。また成年後見人が就いたケースもあり実践しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には重要事項説明書を配布し内容の説明を必ず行い理解を得ています。また、ご家族の不安を必ずお聞きしてお答えしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	今後は家族会の開催も予定していますので、より細かい要望やご意見が頂けると考えています。頂いた意見は直ちに管理者より職員へ通達し運営に活かしています。	・家族の来訪時に健康状態や生活状況を話し、要望も聞いている。連絡帳があり、記録し共有化している。	

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は全体会議と運営会議を通して職員の意見や希望を聞いている。意見の統一があれば取り入れています。	・「全体会議」とは各ユニットの主任が毎月1回行う職員との話合いの事で、ホーム長も参加している。横浜地区エリア課長が週に2回、介護事業部長の来訪もあり意見聴取の機会が多く持たれている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員に対する実績評価やアンケート調査から職員の意見・要望に対処して頂いています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者研修の実施。職員は介護道場（研修）と基礎研修を隔月毎に実施・交流研修を行っており、現場での実習を通してレベルアップを進めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	内部交流は実施していますが、他事業所間との交流は行っていません。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居当初はご本人様に安心して暮らしていけるよう最善の注意を払い、要望や希望を聞き取るなど、会話を通して情報の獲得し安全に暮らせるよう努めています。		

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の要望とご本人の悩みなどを聞き取り、今後の生活の安心・安全に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期対応では、今一番重要なことから、その後のケアに繋がる様に入居時にご家族とカンファレンスを行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員から一方的に介護するのではなく、時には人生の先輩としての知恵や、意見を求め利用者様と一緒に考え、行動しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の体調や問題点をご家族に連絡や報告を行い、ご本人・ご家族・施設・医療関係との連携を図り共に支える関係を実施しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	まだ実施されていないが、今後は思い出の地に個別ケアとして予定しています。	・入居前に住んでいた所の集まりに参加したい人に、外出の支援をしている例があり、今後は個別の要望に沿えるよう「個別ケア」として馴染みの人・場所への訪問を発展させていく計画がある。	

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	年間行事・レクリエーション・外食・ドライブを通して孤立する方が生じないように支援し、日常生活の会話の中に、より多くの方々が参加されるよう支援を行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	不明です。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとり個性の違いがありますが、共同生活で安心して暮らせるよう第一に支援していますが、各人の意向を把握し出来るだけ希望に叶うよう検討しています。	・思いや意向の把握には個室で聞いたり夜間介護の時に聞く、また、入浴時に聞くなど個々のタイミングに合わせている。徘徊が見られたら話題を変えて留ませるなどの工夫もしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴の情報が少ない方が多いので、普段の会話の中から情報を得ることが多々あります。得た情報はすぐ記録してサービス向上に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日行う朝礼・夕礼で一人ひとり心身情報を送り現状の把握に努めています。		

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ドクターやご家族の意見を聞き、短期・長期のケアプランを作り現状に合った介護計画を作成しています。	・各ユニットで毎月、また、必要に応じては随時にモニタリングが行われ、基本的には短期3ヶ月、長期6カ月の介護計画見直しがカンファレンスで検討される。体調を重視して見直しを実施している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の生活チェック表・ケア記録・医療報告書・看護師報告書などを活かし介護実施と介護計画見直しを実行しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族の状況変化には柔軟に対応しています。また、ご家族の状況変化はご本人に負担にならないよう最善の注意を取っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の傾聴ボランティアの方が週一度来て下さいます。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診に際しては、ご家族の希望を優先しながら、かかりつけ医と事業所との関係を構築し、適切な医療を受けられるよう支援しています。	・利用者の中で、以前からのかかりつけ医の診断を受けている方には家族の対応が得られている。その他は事業所への協力医療機関から、希望する医療面での対応がされている。	

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週一度来られる訪問看護師に、個々の利用者様の情報を伝えて、適切な受診が受けられるように努めています。またケアに関するアドバイスを頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療連携体制の下、協力病院のドクターと連携して入院や早期退院に備えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に向けた方針や重度化した場合の話し合いは、ご家族と事業所とドクターとの三者で話し合いを持ち、チームとして支援できるよう支援に取り組んでいます。	・昨年12月に看取りを体験したことから、重度化や終末期の状況に対する対応を制度化するべく、方法についての勉強会を医師を交えて行うことにしている。	・家族等に説明される体制作りを早期に完成できる事を期待します。 ・看取りの勉強会を実施することが望まれる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルを作成し初期対応に備えていますが、定期的訓練など実践力などまだまだ不安であります。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署参加の避難訓練や消火・通報の訓練は定期的に行っています。地域の方々の協力体制はまだ不安があります。	・年2回の計画で自主訓練を行っている。消火器具等の取り扱い方についてや手作り担架の作成方法などの講習が実施された。次回は3月に行う予定である。非常用飲料水の備蓄がされている。	・火災を想定した訓練に地域住民の協力参加が実現できるよう期待したい。協力いただける際の訓練内容に「皆さんに何をしてもらいたいか」を具体的に表示できるよう準備されたい。

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として敬い、失礼のないような声掛けを実施しています。信頼関係が構築されている方には、時により親しみを込めて冗談を言っています。	・職員は入社時に守秘義務に関する誓約書を提出し、日頃よりプライバシーを損ねることのないように言葉づかいに配慮している。 ・個人情報の書類は施錠のできる書庫に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何がしたいか問いかけ、利用者と相談して決めています。施設の行事・外食などは職員が説明しリードしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	要望に合った支援を行っていますが、利用者様全員を毎日とは行えない日もあります。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の気に入った物を優先に実施しています。また外出の際には外出着で出掛けております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日々のメニューを考え、飽きのこないよう工夫しています。食事作りのお手伝い、下膳や食器洗いも支援しています。	・利用者は職員と一緒に下膳、食器洗い、料理の味付けをしている。 ・月に5～6回好きな自由メニューを食べ、誕生日には色紙にみんなで寄せ書きし、ケーキを提供している。	

サリユーブルとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材は業者より老人食の計算された食材で作っております。平成21年11月より水分摂取量を確認するようになりました。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分で出来る方はご自分で行っています。一人ひとり促す方、残念ながら強い拒否のある方は毎日行うことは難しい状況もあります。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表から状況を確認しトイレ誘導の実施や排泄を促す支援を行っています。	・排泄チェック表によりパターンの把握に努め、トイレ誘導を支援している。 ・利用者のしぐさや表情から敏感に察知し、他の利用者が気付かないようにトイレ誘導をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表から排便情報を確認し、牛乳やヨーグルトを摂取して頂き、個々の方々の管理と予防に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時間は午後2時から4時の間で行っており、必ずしも希望には浴えていません。	・入浴は週2回以上で、本人の希望があれば毎日でも入浴できるように支援している。 ・入浴を拒む方には、医師の往診がありますよと声かけし、人を変え、時を変えるなどの工夫をしている。	

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人に合った生活リズムで就寝・起床をしていただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	同封されている薬リストを熟読し、不安な点はドクターや薬局に相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の趣味や興味を考慮して、食器洗い・掃除、将棋・折り紙・釣り談義から各大会開催を希望される利用者様があり企画中です。またカラオケを購入予定です。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	平成21年7月1日より、外出・外食・外出レクを頻回に行っています。個別支援外出を企画中ですが実施は22年2月頃よりの予定でいます。	・利用者は天候や体調、希望に応じて公園へ行き、草花やスポーツを観戦している。車椅子の方も出掛けている。 ・職員は食材や日用品の買い物に利用者と一緒に外出している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の管理が出来る方はおられません、持っているとお心される方には所持して貰います。買物の要求には一人一人に応じ買い物に同行しています。		

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙のやり取りを求める方はいません。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用部分は季節感を感じられるよう四季折々の飾りを実施しています。注意事項としてハデな飾り・光・音は不快を招かないように行っています。	・居間は明るく清潔で、コーナーに和室6帖間もある。行事の写真を飾り、テレビの音量を落とし、すっきりとしている。 ・加湿器を備え、居心地よく過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室に炬燵を設けたりソファを設置して共同生活の中にも自分の空間を持てるよう工夫したり将棋など趣味を生かせるよう工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	これまでに使用していた使い慣れた家具などを使用して頂き防災カーテン等をご家族の理解を得て安全に暮らせるよう相談しながら行っています。	・居室は、馴染みの整理ダンス、家族の写真、仏壇を置き、その人らしく過ごせる居室となっている。 ・各室の廊下側に天窓があり、換気に配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様の体力体調に配慮し興味のある趣味やお手伝いをして頂き、自立した生活をサポートしています。		

サリューブルとつか

事業所名	サリューブル とつか
ユニット名	2F ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	明るい笑顔・元気な笑顔・優しい笑顔の理念の下、優しい声掛けをモットーに管理者・職員間の連携を図りチームケアを実践しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域連携を行うべき働き掛けを開始しました。自治会への挨拶を済ませました。東俣野幼稚園からのもちつき協力を得られました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	まだまだ十分とは言えませんが、散歩途中ご挨拶を実施しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会の意見や要望に応え、サービス向上に努めています。より多くのご家族が出席出来るよう案内をしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村との連携はないです。		

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルを通して、正しく認識していますが、新人職員が多い現状から再度教育を実施中です。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルを通して、言葉の暴力・無視などが虐待であること等、事業所内で見過ごされることがないように防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護では自立支援の目的や成年後見人制度を学ぶ研修を本部で行っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には重要事項説明書を配布し内容の説明を必ず行い理解を得ています。また、ご家族の不安を必ずお聞きしてお答えしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	今後は家族会の開催も予定していますので、より細かい要望やご意見が頂けると考えています。頂いた意見は直ちに管理者より職員へ通達し運営に活かしています。		

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は全体会議と運営会議を通して職員の意見や希望を聞いている。意見の統一があれば取り入れています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員に対する実績評価やアンケート調査から職員の意見・要望に対処して頂いています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者研修の実施。職員は介護道場（研修）と基礎研修を隔月毎に実施・交流研修を行っており、現場での実習を通してレベルアップを進めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	内部交流は実施していますが、他事業所間との交流は行っていません。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居当初はご本人様に安心して暮らしていけるよう最善の注意を払い、要望や希望を聞き取るなど、会話を通して情報の獲得し安全に暮らせるよう努めています。		

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の要望とご本人の悩みなどを聞き取り、今後の生活の安心・安全に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期対応では、今一番重要なことから、その後のケアに繋がる様に入居時にご家族とカンファレンスを行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員から一方的に介護するのではなく、時には人生の先輩としての知恵や、意見を求め利用者様と一緒に考え、行動しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の体調や問題点をご家族に連絡や報告を行い、ご本人・ご家族・施設・医療関係との連携を図り共に支える関係を実施しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前住まれていた自治会の新年会参加の継続などの支援を実施しています。		

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	年間行事・レクリエーション・外食・ドライブを通して孤立する方が生じないように支援し、日常生活の会話の中に、より多くの方々が参加されるよう支援を行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	過去のデータが無いので、行ってないと思います。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとり個性の違いがありますが、共同生活で安心して暮らせるよう第一に支援していますが、各人の意向を把握し出来るだけ希望に叶うよう検討しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴の情報が少ない方が多いので、普段の会話の中から情報を得ることが多々あります。得た情報はすぐ記録してサービス向上に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日行う朝礼・夕礼で一人ひとり心身情報を申送り現状の把握に努めています。		

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ドクターやご家族の意見を聞き、短期・長期のケアプランを作り現状に合った介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の生活チェック表・ケア記録・医療報告書・看護師報告書などを活かし介護実施と介護計画見直しを実行しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族の状況変化には柔軟に対応しています。また、ご家族の状況変化はご本人に負担にならないよう最善の注意を取っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	まだ実現していません。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診に際しては、ご家族の希望を優先しながら、かかりつけ医と事業所との関係を構築し、適切な医療が受けられるよう支援しています。		

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週一度来られる訪問看護師に、個々の利用者様の情報を伝えて、適切な受診が受けられるように努めています。またケアに関するアドバイスを頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療連携体制の下、協力病院のドクターと連携して入院や早期退院に備えています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に向けた方針や重度化した場合の話し合いは、ご家族と事業所とドクターとの三者で話し合いを持ち、チームとして支援できるよう支援に取り組んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルを作成し初期対応に備えていますが、定期的訓練など実践力などまだまだ不安であります。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署参加の避難訓練や消火・通報の訓練は定期的に行っています。地域の方々の協力体制はまだまだ不安があります。		

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として敬い、失礼のないような声掛けを実施しています。信頼関係が構築されている方には、時により親しみを込めて冗談を言っています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何がしたいか問いかけ、利用者と相談して決めています。施設の行事・外食などは職員が説明しリードしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	要望に合った支援を行っていますが、利用者様全員を毎日とは行えない日もあります。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の気に入った物を優先に実施しています。また外出の際には外出着で出掛けております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日々のメニュー考え、飽きのこないよう工夫しています。食事作りのお手伝い、下膳や食器洗いも支援しています。		

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材は業者より老人食の計算された食材で作っております。平成21年11月より水分摂取量を確認するようになりました。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分で出来る方はご自分で行っています。一人ひとり促す方、残念ながら強い拒否のある方は毎日行うことは難しい状況もあります。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表から状況を確認しトイレ誘導の実施や排泄を促す支援を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表から排便情報を確認し、牛乳やヨーグルトを摂取して頂き、個々の方々の管理と予防に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時間は午後2時から4時の間で行っていますが、入浴希望日には出来るだけ応じています。		

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人に合った生活リズムで就寝・起床をいただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	同封されている薬リストを熟読し、不安な点はドクターや薬局に相談しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の趣味や興味を考慮して、食器洗い・掃除、将棋・折り紙・釣り談義から各大会開催を希望される利用者様があり企画中です。またカラオケを購入予定です。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	平成21年7月1日より、外出・外食・外出レクを頻回に行っています。個別支援外出を企画中ですが実施は22年2月頃よりの予定です。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の管理が出来る方はおられません。持っている方と安心される方には所持して貰います。買物の要求には一人一人に応じ買い物に同行しています。		

サリユールとつか

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自ら行える方には自由に行ってもらい、住所・電話の忘れて方には職員が介助して行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用部分は季節感を感じられるよう四季折々の飾りを実施しています。注意事項としてハデな飾り・光・音は不快を招かないように行っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを設置して共同生活の中にも自分の空間を持てるよう工夫したり将棋など趣味を生かせるよう工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	これまでに使用していた使い慣れた家具などを使用して頂き防災カーテン等のご家族の理解を得て安全に暮らせるよう相談しながら行っています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様の体力体調に配慮し興味のある趣味やお手伝いをして頂き、自立した生活をサポートしています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名

サリュール とつか

作成日

平成22年3月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	新人職員の教育。 認知症高齢者の理解。	新人職員には介護の楽しさを知って頂き、認知症高齢者の理解を求める。	認知症基礎研修への参加、外部研修、内部研修を継続する。その他公的な研修の参加。 本年度は身体拘束を重点に研修予定。	1年間
2		資格取得の理解。	ヘルパー2級資格取得。介護福祉士資格取得。介護支援専門員資格取得。	各自のスキルアップのため、新人職員のヘルパー2級、介護福祉士、介護支援専門員の資格取得の応援。東華会主催の資格取得講座への参加。	1年間
3		地域との係り。	自治会行事に積極的な参加をする。当施設の行事に地域住人の参加をお願いする。	火災、震災時に地域住民の応援や協力を理解して頂く話合いの場を設ける。また地域の行事に積極的に参加して認知症高齢者の理解を求める活動の取り組み。	1年間
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。